

穂学

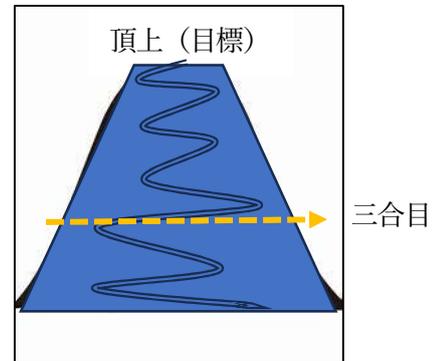


令和5年度
広州日本人学校 学校便り
[No9]
令和5年8月22日(火)
発行責任者 校長 加藤康德

「およそ三合目からのスタートとなります。」

昨日から2学期がスタートしました。私は一学期より以下のような話を子どもたちにしております。

「学校の教育活動は登山のようなものです。頂上(目標)は『自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒』になることです。そして、頂上(目標)を目指すには『・自ら考え、進んで学力の向上に取り組む・自らがいを認め合い、共に生きていく・自ら健康と安全に気を付け、たくましく生きていく』という力を身につけていかなければなりません。しかし、一人では頂上は目指せません。助け合い、励まし合いながら学年・学級のみinnで登ることが大切になってきます。頂上にたどり着くのは、3月の修了式、あるいは卒業式です。児童生徒の皆さん、みんなで頂上(目標)を目指しましょう。なお、この登山では途中で合流する仲間もいます。また、途中で転出して他の山を目指す仲間もいます。新しい仲間には声をかけ、今までの登山について教えてあげてください。そして、途中で他の山を目指すことになった人には安心して次の山を目指すことができるように励ましてあげてください。この学校の登山で身に付けた力は必ず他の山の登山でも役に立ちます。先生方は『つながりを未来に実感させる広州日本人学校を創る』という意識を常に持って、皆さんを導いていきます。」



本校は3学期制です。1年でおよそ三分の一の児童生徒が夏季休業前、冬季休業前、学年末休業後に転出し、そして転入してきます。この2学期は登山でいうところの三合目あたりからのスタートとなります。新しい仲間も大勢転入してきました。次は全員で7合目を目指します。引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「深圳日本人学校との教員合同研修会」

7月31日(月)に深圳日本人学校との教員合同研修会を今年度担当校の深圳日本人学校で開催しました。コロナ禍ではオンラインでの研修会でしたが4年ぶりに対面での研修会を実施することができました。全体研修、学年ブロック交流など、お互いの学校の教育活動についての交流を行いました。同じ広東省内の日本人学校ですが、教育環境や教育内容にそれぞれ特色があることがわかり、教員間でお互いに刺激を受けることができました。深圳校とはこれからも情報の交流を通して、協力し合いたいと考えています。



<合同研修会の様子>

また、深圳校以外にも積極的に外部(他の日本人学校やインターナショナル校など)とつながりを持ち、教員としての更なる資質の向上を目指していきたいと考えています。

令和5年度 前期学校評価アンケート（保護者）の結果

○学校教育目標「自ら学び、個性豊かに国際社会に生きる児童生徒の育成」

※回答率（約90%）

	 = 前回の評価と比べ、5ポイント以上向上した項目  = 90%に達していない項目	令和4年度		令和5年度	
		前期評価	後期評価	前期評価	後期評価
学校は基礎的・基本的な学力の定着を図っている。		98.4	93.2	96.8	
学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。		98.9	89.1	 95.8	
学校は話し合い活動や、作品発表会などの工夫した指導を積極的に取り入れている。		98.4	87.4	 98.6	
学校は家庭学習の推奨や、その指導の工夫を積極的にしている。		89.5	80.3	 91.7	
学校は読書を推奨している。		83.8	72.6	  86	
お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。		95.8	88	 89.5	
学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。		100	92.9	 99.1	
学校は一人一人の個性を大切に、伸ばそうとしている。		98.4	92.4	94.9	
学校は子どもたちの夢を大切に、将来を見通した教育をしている。		96.5	86.4	 95.3	
学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。		98.2	94.1	96.2	
学校は命の大切さや人権を尊重する意識を指導している。		97.1	91.9	94.8	
保護者 学校は児童生徒の個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。		96.7	86.9	 95.9	
学校は進んであいさつをする態度を育てている。		97.3	90	 96.8	
学校は適切な言語環境を育てるため、丁寧な言葉遣いの指導をしている。		97.1	87.9	 96.7	
学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てている。		95.5	90.6	 95.8	
学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成をしている。		97.3	83.4	 94.8	
学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。		95.1	92.2	95.9	
学校は児童生徒の体力の育成の為、各種取り組みをしている。		85.6	71.9	  84.3	
学校は校内の衛生面や感染対策等に気を付け、健康な環境づくりをしている。		98.9	95.5	95.4	
学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりをしている。		99.5	93.4	94.9	
学校は教室内の掲示板やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。				98.1	
学校はいじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。		99.4	92	92.2	
学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。		98.7	96	96.2	
学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。		97.3	91.7	95.4	
学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ、ロイロノート等を通して、教育方針や学校、子どもの様子を保護者に伝えている。		99.5	96.6	96.8	

<アンケート結果を受けて>

保護者の皆様アンケートへのご協力に感謝いたします。前回の評価（令和4年後期）では、11月初旬から始まった中国国内の約2か月間のロックダウンのために、教育活動にかなりの制限を受けました。よって、項目によっては保護者の皆様の評価もかなり低下しておりましたが、令和5年度の前期評価結果からはかなり改善することができたようです。

ただ、「分かる授業の展開」「読書の推進」「体力づくり」についての項目においては、評価が90%に届かず向上の余地を残していると考えます。2学期は「知・徳・体」それぞれの担当に対応を検討してもらい、後期の教育活動を展開していきます。引き続き保護者の皆様のご理解とご協力をよろしく願います。